

# 令和4年度予算編成方針

## ■ 国の動向について

本年6月に閣議決定された「経済財政運営と改革の基本方針2021」においては、新型コロナウイルス感染症は我々に大変厳しい試練を与えている一方で、デジタル技術を活用した柔軟な働き方やビジネスモデルの変化、環境問題への意識の高まりなど未来に向けた変化が大きく動き始めていると分析している。

その上で、このような社会情勢の変化を踏まえ、これまで進められなかった課題を一気に進めるチャンスととらえて「グリーン社会の実現」、「官民挙げたデジタル化の加速」、「日本全体を元気にする活力ある地方創り」、「少子化の克服、子どもを産み育てやすい社会の実現」の成長を生み出す4つの原動力を推進し、ポストコロナの持続的な成長基盤を作ることとしている。

## ■ 本市の現況について

### ◇「財政非常事態宣言」の発出

本市では、平成30年11月に「阪南市行財政構造改革プラン」を策定し、持続可能な行財政運営に向けた構造改革を進め一定の成果を上げてきたが、今後の財政シミュレーションでは人口減少による税収の減少等により、収支不足が増大し、このままでは財政再生団体への転落も危惧されることから、本年2月に「財政非常事態宣言」を発出した。

### ◇「阪南市行財政構造改革プラン改訂版」の策定

現行の「阪南市行財政構造改革プラン」で示している「目的」や「めざす姿」を踏まえつつ、現状の危機的な財政状況を回避・回復させるとともに、住民自治を展望する公民協働のまちづくりを着実に推進し、しなやかで優しく活力あふれる自立した市政をめざし、持続可能な行財政運営を確立するため、本年9月に「阪南市行財政構造改革プラン改訂版(以下、「プラン改訂版」という。)」を策定した。

### ◇「第2期阪南市総合戦略」と「(仮称) 新阪南市総合計画」の策定

国及び大阪府のまち・ひと・しごと創生総合戦略との整合を図りながら、引き続き、「誰もが住みたい、住んで良かった」と感じるまちを実現するため、本市の人口ビジョンの将来展望とそれを実施するための施策を取りまとめた「第2期阪南市総合戦略」を令和3年3月に策定した。

また、この間、人口減少及び少子高齢化の進行、高度情報化社会の進展、地震・ゲリラ豪雨などの自然災害への不安の高まり、新型コロナウイルス感染症により

加速した暮らしの急激の変化など、時代の潮流を見極め、複雑化・多様化する市民ニーズを的確に把握し、将来の都市像の実現に向けた施策を体系化した本市の最上位計画として、「(仮称)新阪南市総合計画」を現在策定中である。

この賑わいの創出や地域経済の活性化を図り魅力あるまちづくりを形成するためにも、新たに施策展開する財源を確保する必要があることから、「プラン改訂版」に示す取組を着実に実施し、持続可能な行財政運営を確立することが不可欠である。

## ■ 令和4年度予算編成について

プラン改訂版の取組初年度となる令和4年度の当初予算編成にあたっては、その目標設定の実現に向け、市税や地方交付税など一般財源歳入総額を適正に見積り、財政調整基金に頼らない収支決算の黒字を見据えた予算編成を行うこととする。

また、プラン改訂版の収支予測においては、今後15年間、赤字に陥ることがないとしているが、そのためには、短期・中期・長期的な目標設定を行っているそれぞれの取組について計画的に実行することが必要なことから、取組初年度である令和4年度の目標を確実に達成するための取組を進める。